

比和・高野地域 交流事業

川遊び ～燻製・SUP 体験～

7/31(金) 9:30～15:30

講師の方をお招きし、SUP（サップ）体験を行います。

【参加費】500 円 【定員】15 名程度

【対象】小学 5・6 年生、中学生

※詳しくは、回覧文書が学校配布のチラシをご覧ください。

夏休みだれでも勉強広場

8/17(月)・8/20(木)
8/24(月)・8/27(木)

みんなで夏休みの宿題をスッキリ終わらせちゃおう！

【場所】下高自治振興センター 理科室

【時間】9 時～12 時 【参加費】無料

※詳しくは、回覧文書が学校配布のチラシをご覧ください。

防災ミニコラム 防災一言メモ

「空振りをおそれず早期避難を！！」

例年よりハイペースとなっている台風の発生による豪雨が心配されます。豪雨災害で怖いのは浸水、土石流や土砂崩れによる危険です。特に、土石流や土砂崩れは予兆を見極めるのが難しく、発生から短時間のうちに被害は深刻な状態になってしまいます。こうした災害から身を守るためには早めの避難が大切であることは多くの方が感じています。しかし、その一方で「今まで被害が出ていないから、きっと大丈夫だろう」と考えて避難行動に結びつかない人たちが多くいるのもまた事実です。

かつて高野町では豪雨災害の発生が少ないと言われていましたが、近年では、今までの経験を超える激しい豪雨が各地で発生しています。また、町内の河川は草木が生い茂り川幅も以前よりかなり狭くなっています。こうした気象状況や河川環境の変化により災害による被害発生の危険性は高まっていると言えます。時期を逃さず安全に避難するためには、庄原市が発令する「警戒レベル3」が発表されてから、「さあ、どうしよう？」では間に合いません。日頃から「ハザードマップ」で自宅と周辺の危険度をチェックし、避難場所・経路を事前に考えておきましょう。また、すぐに避難行動に移せるよう非常持ち出し品を準備しておくことも重要です。避難時期の遅れは命にかかわります。平常時に準備を整え、「空振りを恐れず」早めの避難を心掛けましょう。 防災士：岩本 幸雄

下高自治振興区 8月行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					7/31 比和・高野交流事業 「燻製・SUP 体験」	8/1
2	3	4	5	6 子育て応援 とことこ 10:00～12:00	7	8
9	10 書道教室 13:30～15:00	11 山の日	12	13 お盆休館日→	14	15
16	17 とことこ「勉強広場」 9:00～12:00	18	19	20 とことこ「勉強広場」 9:00～12:00	21	22
23	24 とことこ「勉強広場」 9:00～12:00 書道教室 13:30～15:00	25	26	27 とことこ「勉強広場」 9:00～12:00	28 シモタカフェ 肝だめし 19:00～ ※詳しくは別紙チラシ をご覧ください	29
30	31					

お盆の休館日のお知らせ

【休館日】8月13日(木)～8月16日(日)

おくりもの 藤永 章吾 様

下高自治振興区へのご芳志ありがとうございます。
ご趣旨を大切に活用させていただきます。

みんなが主役 みんなで創る みんなの下高

なんずかんず下高

下高自治振興区
〒727-0423 庄原市高野町下門田 8
☎&Fax:86-2679
Mail:simotaka8@gmail.com
第184号 令和 8年 7月 21日発行

シモタカフェ 6月 地域マネージャー通信

6/17(水) 下高自治振興センター前、花壇の花植えを行いました ☺

この日は天気も良く花植えにはばっちりなお天気。平日ということもあり参加人数は少なかったですが、頑張ってみんなで植えることができました。ご参加下さった皆さんありがとうございました。

地域の方からお花の苗を提供していただき、ありがとうございました。

とことこ 7月7日(火) ハンドマッサージ体験

昨年とことこ・すくすくコラボ企画で行ったヘッドマッサージが好評だったので、今年はハンドマッサージに挑戦してみました。

講師は、西城でエステをされている坂野愛弓(さかのあゆみ)さん。

「こどもに一番触れる手だからこそ柔らかく&子育て中でなかなか自分のために時間を取ることが難しい時期なので少しでもリラックスして過ごしていただけたらと思います」とお話ししていただき施術スタート。「自分が子供の手をマッサージしたりして触ることがあっても、触ってもらうことはないのでも気持ち良かった」「施術中の先生とのお話が良かった」などなど楽しんでいただけました。

気持ちいい&手触りがとっても柔らかくなりました。

施術中、子ども達も良い子に遊んで待っていました。

冬は、フットマッサージをして頂こうと計画中です。お楽しみに♡

第5回 たかのコンサート開催

6/20(土)に、今年で5回目となる「たかのコンサート」を開催しました。コンサート開始前は大雨で足元の悪い中でしたが、約 80 人の方々にご来場いただきました。今年は副区長の三川さんに司会進行をしていただき、区長の馬舩さんによる開会挨拶で幕を開けました。今年は5歳から中学2年生まで、計 16 人の子ども達が出演し、日頃の練習の成果を発表しました。コンサートが始まると徐々に雨も落ち着き、体育館に子ども達の力強い音色が響き渡りました。



今年も地元コーラスグループのボコアポコさんにオープニングを飾っていただき、「翼をください」を披露されました。綺麗なハーモニーに会場全体がうっとり。華やかなコンサートの幕開けとなりました！

プログラム初めは、3人の小さなヴァイオリニストによる演奏でした。長い曲を暗譜して演奏する姿は圧巻！それぞれ素敵な演奏を披露してくれました。



ピアノ伴奏は福永真実先生。

続いて、13 人の小さなピアニストによる演奏でした。クラシック、童謡、歌謡曲、アニメの主題歌などそれぞれ個性溢れる選曲と親子連弾もあり、会場を盛り上げてくれました。今年初参加の子もいましたが、堂々たるステージでした♪みんなの演奏後のやり切った顔が印象的で、演奏が終わる度に会場から温かい拍手が送られました。



眠っていたピアノに息吹
高野 旧校舎で子ども披露

庄原市高野町内の子どもたちがピアノやバイオリンを披露する「たかのコンサート」が、庄原市高野町の下高野自治振興センターであった。住民たち約80人が見守る中、日頃の練習で磨いた音色を奏でた。年長・中学2年の計16人が参加し、クラシックや歌謡曲、アニメの主題歌などをそれぞれ披露した。地元のコーラスグループ「ボコアポコ」もゲスト出演。最後は童謡「ふるさと」を会場全体で全員で合唱し、締めくくった。同センターは2003年に閉校した旧下高野小学校の元校舎。眠っていたランドピアノを活用して地域の輪を広げようと、下高野自治振興区が22年から「たかのコンサート」を毎年開催し、5年目となる今回は20日に開いた。同振興区の小川有里絵さん(40)は「子どもたちの目標の一つにしてもらいたい」と願う。(向井千恵)



最後にみんなの故郷である、ここ高野町を想いながら「ふるさと」を会場全員で合唱しました。最後の歌詞を「ここはみんなのふるさと〜♪」に替えてうたい、会場が一つになりました。

その後はご家族からの花束贈呈を行い、記念写真を撮影してコンサートの幕を閉じました。この日までに沢山練習をして本番で素晴らしい演奏を披露してくれた子どもたちに大きな拍手を送ります。また、子ども達を沢山褒めてくださったみなさん、ありがとうございます。こういった経験は今後の子ども達の力になってくれることと思います。

◀ 6月30日の中国新聞に「たかのコンサート」の記事が掲載されました

担任の先生が来てくれたよ♪



来場者からのメッセージ

「子ども達の一生懸命な演奏にとっても感動しました。」
「小さなヴァイオリニストさんとピアニストさん達に癒された素敵な時間でした。」
「良かった。これ一言！子ども達の記憶に残ってくれたら嬉しい。」
「数年見に来させていただいていますが、年を増すごとに力強くなっているのが分かります。」

出演してくれたみなさん、ご来場いただいたご家族、友達、先生、そして地域の方々、ありがとうございました！これからも子ども達の頑張りを一緒に応援してください。